



京都府国際化プランの 策定にあたって

京都府知事

養巻 一

21世紀を目前にして、わたくしたちを取り巻く社会環境は、国際社会とのかかわりが一層深まってきております。

そのなかで、円高や貿易の自由化に伴う地域産業構造の急激な変化への対応、京都を訪れあるいは京都で生活する外国籍の人々との交流と共生、地球環境問題の解決や国際協力など、地域の国際化に向けて、京都府はもとより市町村・企業・民間団体そして府民一人ひとりが、地域においてそれぞれの立場から主体的に取り組まなければならない数多くの課題が生じています。

京都は、昨年、平安建都1200年という節目の年を経て、世界の文化と文明の自由な交流の場として、また、世界の人々との相互理解と平和に貢献することをめざして、来るべき建都1300年に向けて新たなスタートを切りました。

このため、府民一人ひとりが国際理解を深め、様々な国際活動に積極的に参画することを通じて世界に開かれた地域社会を築いていくとともに、京都府の特性を最大限に活かした経済・文化交流を展開し、国際的なネットワークを広げ、地球社会の一員として貢献していくことが重要になっています。

同時に、国際活動の主体である府民、市町村、民間国際活動団体、教育機関、大学・研究機関、企業などと連携・協同して、これらの取り組みを進めることによって、次代を担う人材を育成し、産業・文化の活性化と地域の振興を図るとともに、世界に向けて京都からの情報を発信し、国際社会において京都ならではの役割を担っていくことができるものと確信しております。

この度、京都府では「京都府『世界に広がる国際化社会』推進懇談会」の御意見を踏まえながら、21世紀に向けて京都府の国際化施策を総合的に推進していくための中・長期的な指針として、「京都府国際化プラン」を策定いたしました。

今後は、このプランに基づいて、府民の皆様をはじめ各活動主体の方々と共に、京都府国際化協会（仮称）の設立をはじめ、京都府の国際化に更に積極的に取り組んでまいりたいと考えておりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

1995年4月